

- 新たな被害想定を踏まえ、東京国際空港地区の**石油タンク等への影響を評価**するため防災アセスメント調査を実施（検討会メンバーは別紙）

新たな被害想定に基づく防災アセスメント調査の結果（現行想定との比較）

調査項目	想定内容（想定地震等）	現行想定との比較
<b>短周期地震動</b> （タンク等の破損による影響）	石油タンクの防油堤内で発生する火災による放射熱は、防油堤から <b>半径333m</b> に影響（都心南部直下地震）	<b>増減なし</b>
<b>長周期地震動</b> （スロッシングによる影響）	石油タンクから <b>99kL</b> が溢流（1基あたり）により防油堤内で発生する火災による放射熱は、防油堤から <b>半径333m</b> に影響（大正関東地震）	<b>増減なし</b> （溢流量は30kL減）
<b>津波</b> （危険物施設の浸水被害）	被害を受ける危険物施設なし（大正関東地震等）	<b>減少</b> ※

※ 高潮による災害想定に変更なし（タンクローリーが1～3m浸水する想定）

- 結果は、**現行の災害想定と同等**であり、あらゆる事態に万全を期すため、**現行の防災対策を関係機関と連携し継続して講じていく必要**

# 東京都石油コンビナート等防災計画の修正

- 防災アセスメント調査結果を踏まえ、東京都石油コンビナート等防災計画を修正
  - ・ 災害想定の更新、所要の整備（特定事業所の名称変更、組織改編に伴う更新等）

修正スケジュール

令和5年度

4月	5月	6月	7月
<ul style="list-style-type: none"><li>● 災害想定公表</li><li>● 石コン本部書面会議（計画修正発議）</li></ul>	<p>第1次照会</p>	<p>第2次照会</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 石コン本部書面会議（修正内容承認）</li><li>● 修正石コン計画公表</li></ul>

## 東京都石油コンビナート等防災アセスメント検討会 専門員

氏名	所属	専門分野等
稲垣 景子	横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院 准教授	安全システム、都市防災
◎ 岡 泰資	横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授	火災科学、安全工学
田島 芳満	東京大学大学院工学系研究科 教授	海岸工学
畑山 健	消防庁消防大学校 消防研究センター 技術研究部 施設等災害研究室長	地震防災、強震動地震学
中里 努	三愛オブリ株式会社 航空事業部 安全防災部長	特定事業所

◎ 座長